

娘の未来に、
私が今できること



子宮頸がんは、予防する方法があります。 詳しくは、医師にご相談ください。

子宮頸がんは、
おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)
の感染が原因の疾患です。

罹患者数：毎年
約**10,000**人

死亡者数：年間
約**2,900**人

20~30代でも罹患

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年~2020年)/全国がん死亡データ(1958年~2023年)

10代からのHPVワクチン接種と、20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です。*

10代から

HPVワクチン 2回、または3回接種で完了^{※2}

20歳を過ぎたら

定期的な
検診

2025年度の公費助成(原則自己負担なし)対象者

小学校6年生~高校1年生相当の女子

定期接種

今年度 **12歳~16歳** になる方

2009年4月2日~2014年4月1日生まれ/標準的な接種時期は中学校1年生



**今年度、定期接種対象の最終年度である16歳になる方は
9月末までに医師にご相談ください。**

なお、2024年度中に接種完了できなかった方への経過措置が設けられており、1997年4月2日~
2009年4月1日に生まれた方で2022年4月1日~2025年3月31日の間にHPVワクチンを
1回以上接種している方は2026年3月31日まで残りの接種を公費で受けることが可能です。

**20歳を過ぎたら、
子宮頸がん検診を
定期的に受けましょう。**



※1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

※2: 接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種(標準的なスケジュールでは6か月で接種完了)が必要です。
接種スケジュールなど詳しくは医師にご相談ください。

詳しくは、**もっと知りたい** 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。

子宮頸がん予防



いつかじゃなくて、
「今」だ。



子宮頸がんは、予防する方法があります。

子宮頸がんは、
おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)の
感染が原因の疾患です。

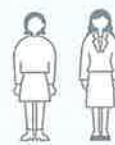
罹患者数：毎年
約 **10,000** 人



死亡者数：年間
約 **2,900** 人



20～30 代でも罹患



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年～2020年)/全国がん死亡データ(1958年～2023年)

HPVワクチン接種と20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です*1。

HPVワクチン

2024年度(令和6年度) HPVワクチンの公費助成(原則自己負担なし)の対象年齢

キャッチアップ接種は今年度(2025年3月31日まで)で終了となりますが、今年度16～27歳で
キャッチアップ接種期間中*2に1回以上接種している方は、残りの接種を2026年3月31日まで公費で接種できます。

定期接種対象者

小学校6年生～高校1年生相当の女子*3
標準的な接種時期は中学校1年生

12
歳

13
歳

14
歳

15
歳

16
歳

キャッチアップ接種対象者

1997年度～2007年度生まれの女性*4
かつ、過去にHPVワクチンの合計3回の接種を完了していない方

17歳～27歳

今年度16～27歳で、公費でのHPVワクチンの接種を希望される方は、3月末までに医師にご相談ください。

1997年4月2日～2009年4月1日に生まれた方でキャッチアップ接種期間中*2にHPVワクチンを1回以上接種している方は、2026年3月31日まで残りの接種を公費で接種することが可能です。
参照：厚生労働省ホームページ ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン～ (Accessed Jan. 08, 2025)

子宮頸がん検診

20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を定期的に受けましょう。

ワクチンを接種していても、子宮頸がん検診は必要です。

子宮頸がん検診は、がんやがんになる前の状態(前がん病変)を早期に発見するために行う検査です。

*1：ワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

*2：キャッチアップ接種期間：2022年4月1日～2025年3月31日

*3：2024年度(令和6年度)の定期接種対象者は2008年4月2日～2013年4月1日に生まれた方

*4：2024年度(令和6年度)のキャッチアップ接種対象者は1997年4月2日～2008年4月1日に生まれた方

HPVワクチンの標準的な接種間隔の場合、接種完了までに6か月かかります。接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種が必要です。

詳しくは、子宮頸がん予防に関する情報サイト [もっと知りたい](#) 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。 [子宮頸がん予防 Q](#)

